

あいご



No.82

令和3年度

鹿児島市あいご会連合会

「夕日」谷山北中学校一年 秋廣 美憂



川のついで

谷山北中学校一年 山元 竜成

橋を歩いていて
ふと川を見ると
まるで、おにごっこをしているかのよう
こいが十数匹追いかけてくる
ぼくが右に行ったら右に
左に行ったら左に
えさをもっている訳でも
ないのに
まるで、ぼくをはげましている
みたいだなあ



目次

<絵：「夕日」 谷山北中学校1年 ^{あきひろ}秋廣 ^{みう}美優>
<詩：「川のこい」 谷山北中学校1年 ^{やまもと}山元 ^{りゅうせい}竜成>

巻頭言

体験活動の充実に向けて 3
鹿兒島市教育委員会青少年課 主幹 上村 嘉代 氏

特集

“みんなが楽しむあいご会”

ブロック・校区あいご会・単位あいご会での活動紹介

・絵手紙コンクール	谷山南部ブロック	4
・吉野に伝わる「大石兵六夢物語」	吉野校区あいご会	5
・本気で遊ぶデイキャンプ	八幡校区あいご会	6
・校庭から星空を観測しましょう〔天体観測〕	桜丘東校区あいご会	7
・インターネット版吉野検定	吉野東校区あいご会	8
・城山登山～82年続く伝統行事を守る～	松原校区あいご会	9
・「心のふるさと」作品大会	中山校区あいご会	10
・七夕飾り	山下校区あいご会	12
◎ トピックス		
・あいご会だより紹介	花野校区あいご会	13
◎ あいご会連合会事業		
・理事等役員研修会		15
・あいご会に関するアンケート結果		16
◎ 令和3年度委嘱研究公開		
	宮川校区あいご会	18
	名山校区あいご会	19
◎ 令和3年度あいご会連合会役員名簿・編集委員名簿		20
・あとがき		21

<表紙絵：「得意になったタイヤとび」坂元小学校2年 ^{もりしま}守島 ^{みそら}美空 >

～ 巻 頭 言 ～
体験活動の充実に向けて



鹿児島市教育委員会青少年課
主 幹 上 村 嘉 代

子どもの頃、公民館の清掃作業、夏休み前の話し合い活動、十五夜のすもう大会、鬼火たきなど、子ども会で様々な活動をしていたことを思い出します。母が役員だったときは、夏休みにラジオを準備していっしょに会場へ向かい、放送時にスイッチを入れる手伝いをしました。その年の朝の体操は、特に印象に残っています。

体験は、多様な場面での実際の活動を通して、汗をかいて活動したり協力して成し遂げたりするため、達成の喜びが自信となります。そのため、子どもの頃から様々な活動に挑戦し、多様な経験を積み重ねていくことはとても有意義であり、周りにいる大人が子どもの生活環境の中に計画的に多様な体験の場や機会を作っていくことが大切だといわれます。

「発達段階に応じた望ましい体験の在り方に関する調査研究の中間まとめ」（令和2年3月国立青少年教育振興機構）では、「子供の成長を支える20の体験」と、それに併せて「発達段階に応じた体験活動を考える視点」を4つあげていま

す。

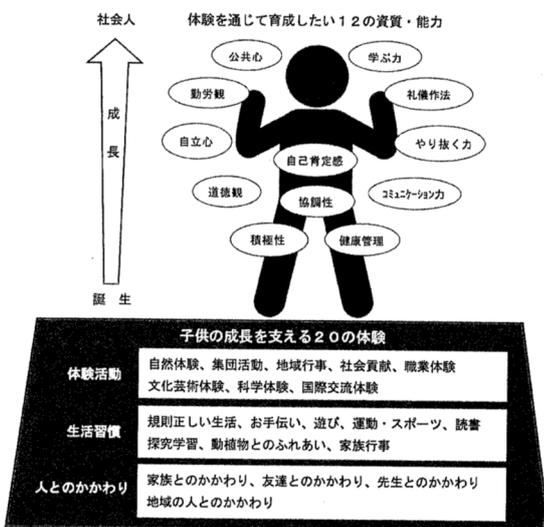


図3-1. 多様な体験を土台とした子供の成長を支える環境

- 視点1 どのような体験をさせるか？（体験の内容）
- 視点2 いつ体験させるのか？（体験の時期）
- 視点3 どのように体験させるのか？（体験の質）
- 視点4 体験をとおしてどのように関わるのか？
（体験を通じた人とのかかわり）

子どもたちに多様な体験の機会を設けるには、時間や場所、道具の準備や活動への配慮など、多くの方のご協力がより充実した活動へとつながります。

本課では、あいご会活動を更に充実させてい

ただけるよう役員等を対象に研修会を行っております。

昭和42年に制定された鹿児島市民憲章には、「一 わたしたち鹿児島市民は みんな助け合って 子供たちの幸福を守りましょう。」という一節があります。この市民憲章に基づき、あいご会は、全市民がすすんで協力し、心身ともに健全な子どもを育てる組織として、全国でも類をみない市民総ぐるみの子どもの育成組織として結成されました。子どもたちはもとより、関わる全ての方にとって充実した活動は、あいご会活動充実につながっていくことと思います。あいご会の理念のもと、各あいご会、あいご子ども会が工夫を凝らして、青少年の健全育成に取り組んでくださっていることに感謝申し上げるとともに、今後ますますの発展を心から願っております。

吉野に伝わる「大石兵六夢物語」



吉野校区あいご会では、例年、吉野兵六夢物語の紙芝居発表やドッジボール大会、サマー交流会、相撲大会等の様々な活動を行っています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響



で、昨年度に引き続き、恒例行事が中止や延期となり、ほとんどのあいご会活動が実施できておりません。しかし、その中でも、実施することができた「吉野兵六夢物語紙芝居」の活動を紹介します。

月に一度、校区公民館で練習をしています。練習時には、マスク着用やこまめな換気、ソーシャルディスタンスを保つ等の感染症対策を行い、今年度は4月から練習を始めました。1年生から6年生までの12人の子どもたちで活動しています。初めて参加する子どももいましたが、互いに聞き合い、教え合いながら、一生懸命に練習に励んでいます。

吉野小学校創立150周年記念式典や地域のイベントへの参加！

今年度は、吉野小学校創立150周年記念式典があり、紙芝居発表の機会をいただきました。学校の友達に見てもらえるというこ



とで、より一層練習にも力が入り、一人一人が役になりきって、自分の台詞を読むことができました。また、多くの子どもたちの前で発表することで、吉野に昔から伝わる「大石兵六夢物語」を広

く知ってもらえたことができた、とてもよい機会だったのではないかと思います。

また、11月には、鹿児島市立少年自然の家が主催するイベントに参加し、そこでも、参加者の方々の前で、紙芝居を発表することができました。吉野に伝わる「大石兵六夢物語」を子どもたちの紙芝居を通して、多くの方々に語り継がれたらいいなと思います。

☆ 子どもの感想 ☆

- ・ いろいろな学年の人と一緒に活動ができるので、楽しい思い出がたくさんつくれました。
- ・ たくさんの人の前で発表するときは、少し緊張するけど、「大石兵六夢物語」を伝えることができ嬉しです。
- ・ 150周年記念式典での紙芝居発表を同級生に見せるのは、初めてで緊張しましたが、楽しむことができました。



【小学校あいご会コーディネーター 牧 愛夏】

本気で遊ぶデイキャンプ

8月1日（日）、鹿児島市立少年自然の家で「本気で遊ぶ」と銘打ったデイキャンプを実施しました。小学生40人、指導者10人の総勢50人が参加しました。

これは、八幡小学校の建て替えて、グラウンドが使用できず、それでも何か子どもたちの夏休みの思い出になるイベントをしようと企画したものです。

ただ遊ぶのではなく、コロナ感染防止に留意し、準備や片付けなどを児童が中心となって行うようにしました。また、活動進行に配慮することで、子どもたちの自主性を養うよう工夫しました。

今回、指導者として参加しましたが、楽しく親子で活動することで、絆を深める良い機会になりました。

アスレチックが一人できたのがうれしかった。



アスレチックと水てっぼう大会が楽しかった。



キャンプファイヤーは雨でできなかったけど、キャンドルセレモニーが感動しました。



みんなで弁当を食べ、夜まで遊んで楽しかった。また参加したい。

親子で活動することで絆を深めるよい機会となりました。当日前から家族の検温と健康チェック、友達とのソーシャルディスタンスをとるなど新型コロナウイルス感染対策を十分行いました。また、運動中はマスクを外し、30分ごとに水分補給をするなど熱中症対策も行いました。事故やけがもなく無事に楽しく活動できてとてもよかったと思います。子どもたちの笑顔をいっぱい見ることができました。

【校区あいご会サポーター おやじの会会長 武田正児】

校庭から星空を観測しましょう〔天体観測〕

11月19日(金)19時から桜丘東小学校校庭にて天体学習天体観測を行いました。部分月食の日でもあり多く参加がありました。(約150人(子ども約100人))

天体学習は校庭でのプロジェクター映像が映えて楽しく学び、天体観測は天体望遠鏡にて「月・木星・土星」の観測を行い、子どもたちも大人の方々もとても興味を持てた活動となりました。

※ 天体学習天体観測は少年自然の家の出張講座を依頼

天体学習



校区公民館



夜の校庭に
プロジェクター映像が映えました



吉野少年自然の家講師の方々

天体観測

ぼくは初めて「木星」と「土星」を観ました。この2つの星を見て興味が出てきたので、将来宇宙飛行士になってみたいです。 6年 川畑雄大



イメージ画像です



11月19日は
部分月食でした



参加された方々からとても良い活動で勉強になったと多くのお言葉をいただきました。今後も子どもたちが少しでも成長できる活動や子どもたちの記憶に残る活動を目指していきたいです。

【有志あいご会コーディネーター 谷口拓也】

インターネット版吉野検定



令和2年から始まったコロナ禍により、あいご会を始め、各種の地域行事の中止が続きました。そんな中で吉野東校区あいご会では、3密を避けた「人の集まらない新たな活動」を課題と捉え、令和3年度より、インターネットを利用した吉野検定への取り組みを始めました。

【 壱の型 】★1

1. 吉野東校区の誕生
2. まちの風景
3. 農業と自然
4. まちの安全
5. ちょっとむかし



～ 太陽光発電と風力発電 ～

【 弐の型 】★2

1. 伝統行事
2. 神社
3. 風習
4. 水道の歴史
5. 兵六物語



～ 菖蒲神社 棒おどり ～

吉野東校区あいご会の吉野検定とは？

「自分の住む地域を知り、地域を愛し、地域の未来をにねる人になろう」を目的に、インリーダ研修の中で子どもたち向けの吉野検定を毎年実施してきました。（平成25年～令和元年）

吉野検定では、吉野に関連する歴史（史跡や人物）、自然（公園や遊歩道）、一般常識のほか、思いもよらない問題も出題されます。

例えば、

- ・七社の石郷遺跡は何時代の遺跡か？
- ・吉野公園の展望台は海拔何メートルか？
- ・吉野を通る路線バスは？
- ・吉野町1番地はどのあたりか？

など、選択式や記述式で出題されます。

インターネット版への取り組み

インターネット版は、吉野検定の目的を踏襲しながら、地域のことを親子で楽しく学ぶためのツールとなることを目指しています。これまでの実績を基に、画像を利用した設問を取り入れ、「検定」というより雑誌や図鑑のような感覚で楽しめる内容になるよう工夫しました。

また、あいご会行事に疎遠な方々からも今回、写真や情報提供など、多くのご協力を頂きました。今後、子どもたちに知識を伝えることで、あいご会の活動に参加頂く機会となればと考えています。

「吉野検定 PR編」のご紹介

第1段として、令和3年7月に4編（★1～★4）を子どもたちと保護者に向けて公開しました。また、この全4編を再編し「吉野検定 PR編」を作成しました。吉野に引っ越してこられた方や吉野以外の方などあらゆる方に向けて、吉野や鹿児島島の魅力、及び、吉野検定の活動をさまざまな視点で紹介しています。興味のある方は、ぜひご覧ください。



- ※ 左のQRコードをスマホで読み込むと「吉野検定 PR編」が表示されます。
- ※ インターネット版の吉野検定は、googleのフォームを利用しています。解答を送信すると、google社のクラウドサービスにつながり、採点結果を確認できます。
- ※ ご利用の際、電話番号やメールアドレスなどが知られることはありません。



～ 寺山炭釜跡 ～

【 参の型 】★3

1. 世界遺産
2. 吉野牧と東目筋
3. 西郷さん
4. 西郷さんと吉野
5. 歴史いろいろ



～ 鬼火焚き ～

【全集中！ 炎舞】★4

壱の型から参の型までの復習問題です。ここでは、採点結果のみが表示され、間違っても、正解は表示されません。

【松原校区あいご会】



城山登山 ～ 82年続く伝統行事を守る～

城山登山は令和元年度で80年を迎えた地域行事の中でも長く続いている伝統行事です。この伝統行事が令和2年度新型コロナウイルスの万延のため、中止になりました。

理事会はコロナ禍の中でも行事を続けるため協議を続け、10月24日(日)に対策を講じて再開することになりました。

久しぶりに城山に登れるためか、児童、保護者を含めは80人を越える参加者が集まりました。昭和14年松原小学校当時の体育の先生が、子どもたちの健康増進保持を考え、心身ともにたくましい子どもを育成するために、自分の学級を連れて、毎週日曜日に登り始めた城山登山を再開できた嬉しさと続けることの責任を感じました。



新型コロナウイルス感染症対策のため、集合場所もルートも別々にして、接触をできるだけ減らしました。



城山登山（新型コロナウイルス感染症対策版）

登 山 日 毎月第1・3日曜日
集 合 場 所 松原小学校校庭・東本願寺別院前
登山開始時 夏時午前6時（冬時午前6時半）

城山展望台到着後、清掃活動・人数確認 下山

※※コロナウイルス対策※※

- ・ 自宅で検温して、平熱を確認する（体温測定を忘れた人は集合場所で検温）
- ・ 集合場所入口で手指消毒
- ・ 参加者は全員マスク着用



【有志あいご会コーディネーター 田地行真由美】

1年の部 優秀賞

いとっぱい しゃんもいっぱい
あいつもいっぱい ちゅうぜんしょう

しゃんがいっぱい ちゅうぜんは
ぼくらにとってのこうえんだ



22年の部 優秀賞

お父さんもおじいちゃんも
ここで生まれそだったって
わたしもここに まもられてるね

おうだんほどわたりるとき
青パトさんがいるからね
安心してわたれるよ



令和三年十一月十九日、二十四日には、大会入賞者の授賞式が行われ、十一名の児童が地域・学校・PTAのそれぞれの代表の方から表彰されました。
十九日には、二・四・六年生の児童がそれぞれ中山小学校校長賞、まちづくり協議会青少年育成部部長賞、中山地区防犯パトロール隊長賞と、学年ごとの優秀賞を受賞し、二十四日には、中山小学校PTA会長賞、中山校区あいご会会長賞、中山校区まちづくり協議会会長賞、そしてそれぞれの学年ごとの優秀賞を受賞し、喜びの表情を浮かべていました。

3年の部 優秀賞



こがね色
きらきら光る
田んぼ道

6年の部 優秀賞



自然いっぱい
笑顔あふれる
中山校区

せまい道
車もわたしも
ゆずりあう
やさしい心
中山校区



4年の部 優秀賞

たくさんの
こどもの声と
田の緑
きらきら光る
わが中山

5年の部 優秀賞



稲の上
とんぼと風の
舞台かな

児童数
あいさつ笑顔も
マンモス級

それぞれの思いのつまった二十一年作品を、じっくりとご覧ください。



第2回 中山校区 「心のふるさと」作品大会

思い出の中に浮かぶ

「ふるさと」を目指して

令和三年十一月十一日、中山小学校の図書館にて今年度の中山校区「心のふるさと」作品大会の二次審査が行われ、六つの特賞と十五の優秀賞が選出されました。

この中山校区「心のふるさと」作品大会については、昨年度より校区町づくり協議会、校区あいご会連合会の主催で企画され、この中山が子どもたちの思い出の中に浮かぶ「心のふるさと」となるよう、日常の何気ない風景や、地元での大切な人との会話等、皆で共有している楽しいふるさとの姿を、様々な作品の形で募集してきました。

今回の大会では、昨年よりさらに多くの児童が参加し、総勢八百二十五名の児童が多くの作品を投稿してくれました。

当日は中でも一次審査を突破した力作が多く台上に並び、招かれた学校関係者や町づくり協議会関係者、PTA関係者、あいご会関係者の方々を唸らせました。

どの作品からも、この中山という地域の良さや、そこにある自然、住んでいる人々との交流に対するあたたかい思いが伝わってきて、審査員も思わず笑顔になってしまふ素敵な作品で溢れていました。



中山校区防犯パトロール隊長賞



中山小学校校長賞

集まって
みんなであいっしょに
あいご会
鹿見島の行事
楽しみつくす

中山校区まちづくり協議会会長賞

<主催>

中山校区
まちづくり
協議会

中山校区
あいご会

たすけ合い
力を合わせる
あいごのわ

中山校区あいご会会長賞



中山小学校PTA会長賞



まちづくり協議会青少年育成部部長賞

今だからこそ
ふりかえりたい

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、学校や地域で子どもたちが楽しみにしていた行事等がすべて中止となり、外で遊ぶ時間も減り家で過ごす時間が増えてきている中、地域と学校とが連携し子どもたちの育ちのために何かできないか考えてきました。中山・山田をふるさとにもつ子どもたちに「心のふるさと作品大会」を通じて日常の何気ない風景や、地元での大切な人との会話等、皆で共有している楽しいふるさとの姿を絵や標語、俳句で作品にしてもらい家庭の大切さや、地域の人のふれあいの大切さを解ってもらえたら有難いです。

地域で子どもを見守り、育て子どもたちが「人として出会う・繋がる・ふるさとで育つ」事の大切さを我々大人が今一度考えるいい機会になればと思っております。

【校区あいご会会長 福元義弘】



8月5日(木)かごしま国際交流センターにて、加治屋町敬老会と加治屋町あいご会の合同で、ふれ合いの機会をつくり、夏休みの楽しい思い出づくりのイベントとして「七夕飾り」を企画しました。当日は、敬老会より13名、あいご会より子ども19名、大人8名、合計40名が参加しました。

始めに敬老会の方より、加治屋町の歴史についてクイズを交えてご講話をいただきました。子どもたちも積極的に手を挙げて参加し、楽しいコミュニケーションの時間となりました。

その後、敬老会の方々が準備してくださった、子どもたちの背丈ほどある本物の笹や短冊用にカットした折り紙を使い、七夕の飾り付けを行いました。敬老会の方がグループの中に入り、見本



を示しながら飾りの作り方を教えてくださったので、子どもたちは、会話を楽しみながら作成することができました。参加した子どもたちからは、「加治屋町についての話がおもしろかった。」「本物の笹の葉に飾ることができてうれしかった。」など、たくさんの喜びの声を聞くことができました。コロナ禍で多くのイベントが中止となりましたが、夏休みの楽しい思い出を少しでもつくることのできたのではないかと思います。

【加治屋町あいご会 あいご部長 小湊みずほ】

花野校区あいご会だより

発行責任者 花野校区あいご会長 中野 則昭



講演の様子

～青少年健全育成大会・「立志のつどい」について～

1月25日、花野小学校体育館において、花野小を卒業した中学2年生を対象に、「青少年健全育成大会・立志のつどい」が行われました。大会において生徒へ熱心に語られた講演及び祝辞の内容について紹介します。

講演「完全燃焼」～今、できることを精一杯～

樟南高等学校校長の時任保彦先生に、「完全燃焼」をテーマに講演をしていただきました。以下にその一部を紹介します。

中学2年生は、どんな時期？

中学3年生になる今の時期は、自分の進路を考える時期である。その実現のために、具体的に何をすべきか、真剣に考えてほしい。目標を決めたら、紙に書いて、自分の目にふれる場所に掲げておく。

目標達成のための情報を収集し、進学先を決めることが大切である。どんな教科が週に何時間あり、どんな資格が取れるのか・・・など、目的を持って学校を選んでほしい。

完全燃焼した生徒から学んだこと

- 1 規則正しい生活をしている。決まったことを決まった時間に継続してやる姿がみられる。
- 2 礼儀正しい。
- 3 周囲の人へのあいさつをきちんとする。競技が終わったあと、競技場のゴミ拾いなどの奉仕活動をする（女子駅伝部の生徒）。
- 4 人を大切にする。自分だけのことを考えず、チームワークを大切に。今、自分ができることを継続して、精一杯やる態度が見られる。
- 5 スランプに陥ったとき、指導者や人のせいにならない。集中して練習しているか自省の念が強い。

目標達成のために

謙虚さ・感謝の心・努力する心を持つことが大切。

祝 辞 3名の先生方より祝辞をいただきました。その内容をご紹介します。

校長 濱田りえこ先生

私が花野小学校に着任したとき、皆さんは6年生でした。みなさんと生活したの中で、3つの強烈な思い出があります。

1つめは、4月3日に入学式の準備をしていると、立ち止まりしっかり私の顔を見てあいさつをし、「何か手伝うことはありませんか」と言ってくれたこと。2つめは、運動会の準備の日、校庭で円陣を組み先生たちを引き込んで、大きな声を張り上げ、「明日の運動会を成功させるぞ。エイ、エイ、オー」と団結心を示したこと。3つめは、2日間の修学旅行を終え、帰り際に運転手さんとガイドさんが、「この子どもたちと別れたくない」と涙を流されたこと。

皆さんは、人を感動させたすばらしい生徒です。「負けないぞ、頑張るぞ」という強い心を忘れず、花野小学校の卒業生としての「自信と誇り」を持って歩んでください。

担任 末原恭太先生

大平光代さんという方は中学時代、いじめを受け不登校になりました。しかし通信教育を受けながら猛勉強をされ、最難関の司法試験に合格されました。自分が教師になったある日、一人の子どもから「先生、勉強が分かりません」と泣きつかれました。自分の努力が足りないと考え、それ以後、教材研究・指導方法の勉強を遅くまでするようになりました。みなさんも、今自分が何をすべきかを考え、これからも精一杯頑張ってください。

副担任 徳重 光太郎 先生

私が教師になると決めたのは、中学2年の立志式の時であった。この目標実現のために努力したが、1回目は大学受験に失敗した。大学卒業後の教員採用試験にも失敗した。

目標に向かって努力しても、スムーズに簡単に目標が達成できるとは限らない。そんなとき、くじけず自分を信じ、強い心を持って欲しい。難儀をして目標達成できた喜びは大きい。今、私はそれを実感している。

伊敷地区あいご会子ども会大会を終えて

花野校区あいご会 会長 中野則昭

2月2日、花野小学校体育館で、「あいご会活動における子どもの成長と地域の関わり」のテーマのもと、およそ200名が集まり大会が開かれました。花野小5年生の美しい歌声に始まり、伊敷台小・西伊敷小・花野小各校区の活動事例発表後、川添まり子先生の「体のコアと正しい姿勢」の講話がありました。正しい姿勢によって、声の出方・疲れ具合・人への好感度・集中度・脳の働きに違いが出ることなどを話され、正しい姿勢の実技指導などをいただきました。

この会が成功した裏には、みんなのために奉仕していただいたあいご会役員並びに花野小学校の先生方のご協力のおかげと厚くお礼申し上げます。



記念撮影

～花野地区の5つのあいご会の活動について～

千年1丁目 ～お楽しみ交流会～

1月12日、千年1丁目新春お楽しみ交流会があり、町内会と千鶴会の皆さんでグラウンドゴルフをしました。ルールを教えてもらい、各グループでゲームを楽しみました。子どもたちは覚えるのが早く、ホールインワンも出て盛り上がりました。こま回しや羽根つきも教えてもらい、昔のお正月遊びにふれあいました。皆さんと一緒に交流バイキングでランチをいただきとても美味しかったです。最後に絵本の読み聞かせもあり、楽しく充実した交流会になりました。



千年2丁目 ～十五夜祭り、クリスマス会、餅つき会・正月遊び～

10月14日、千年1丁目と合同で十五夜祭りを行いました。男の子の子どもとともに本気でぶつかりあった相撲、1丁目 VS 2丁目や子ども VS 大人など力いっぱい引き合った綱引きなど、きれいな月を見ながら両町内会の交流を深めました。



12月22日、クリスマスを前に、ポインセチアの花の説明や、講師をお招きして花の鉢にクリスマスの飾りや花を加えるフラワーアレンジメントを体験しました。地域の方と一緒に昼食をとり、ケーキも美味しくいただきました。



1月4日、お天気も良く温かい日となり、公園に杵と臼を準備していただき、昔ながらの餅つきを体験しました。小さな子どもは重たい杵を持ち上げるのも大変そうでしたが、べったんべったんと上手に餅をつくことができました。その後、青空の下で凧を揚げ、公園いっばいに走り回り、最後は婦人部の方々に準備していただいたぜんざいにみんなで丸めた餅を入れ、美味しくいただきました。今年も町内会の役員の方々をはじめ、たくさんの方にご協力いただき、子どもたちに様々な体験や町内の方々と交流をさせていただきました。本当にありがとうございました。



花野光が丘 ～グラウンドゴルフ大会～

12月8日、町内会グラウンドゴルフ大会が光が丘公園で行われ、たくさんの小学生の参加がありました。地域の方々からルールやマナーを教わりながら、積極的にプレイしていました。最初はなかなかうまくいかない子どもたちでしたが、少しずつ上達し、楽しんでいました。天気にも恵まれ、寒い身体もすぐに温まりました。ふだん体験することのない貴重な思い出になりました。



花野 ～敬老の日～

9月16日、花野公民館にて敬老のお祝い会がありました。あいご会の子どもたちでパブリカダンスを披露しました。たくさんの人の前で緊張してしまったのかいつもより表情のかたい子もいましたが、上級生の上手なリードに助けられて最後まで踊りきることができました。まだまだ残暑の厳しい日、待ち時間の長い日でしたが、地域の方々に冷たいお茶の差し入れをいただき、すっかりお兄ちゃんになった中学生の手伝いもあって、静かに本番を待つことができました。

笹原 ～十五夜、敬老会～

9月14日、十五夜を行いました。お昼間には地域の方と一緒に団子作りをし、夕方からは綱引きとお相撲を行い楽しみました。綱引きでは子ども VS 大人、小学生 VS 中学生などで対戦し、どちらも負けじと本気で引っ張り合いました。お相撲は地域の方のご協力のもとで作られた土俵で行われ、最初は年齢別で対戦したのですが、低学年が高学年へ挑戦する姿や、親子で対戦する姿など、白熱した対戦が行われました。最後はみんなで一緒に団子をおいしくいただきました。十五夜にふさわしく、この日はきれいな月夜でした。

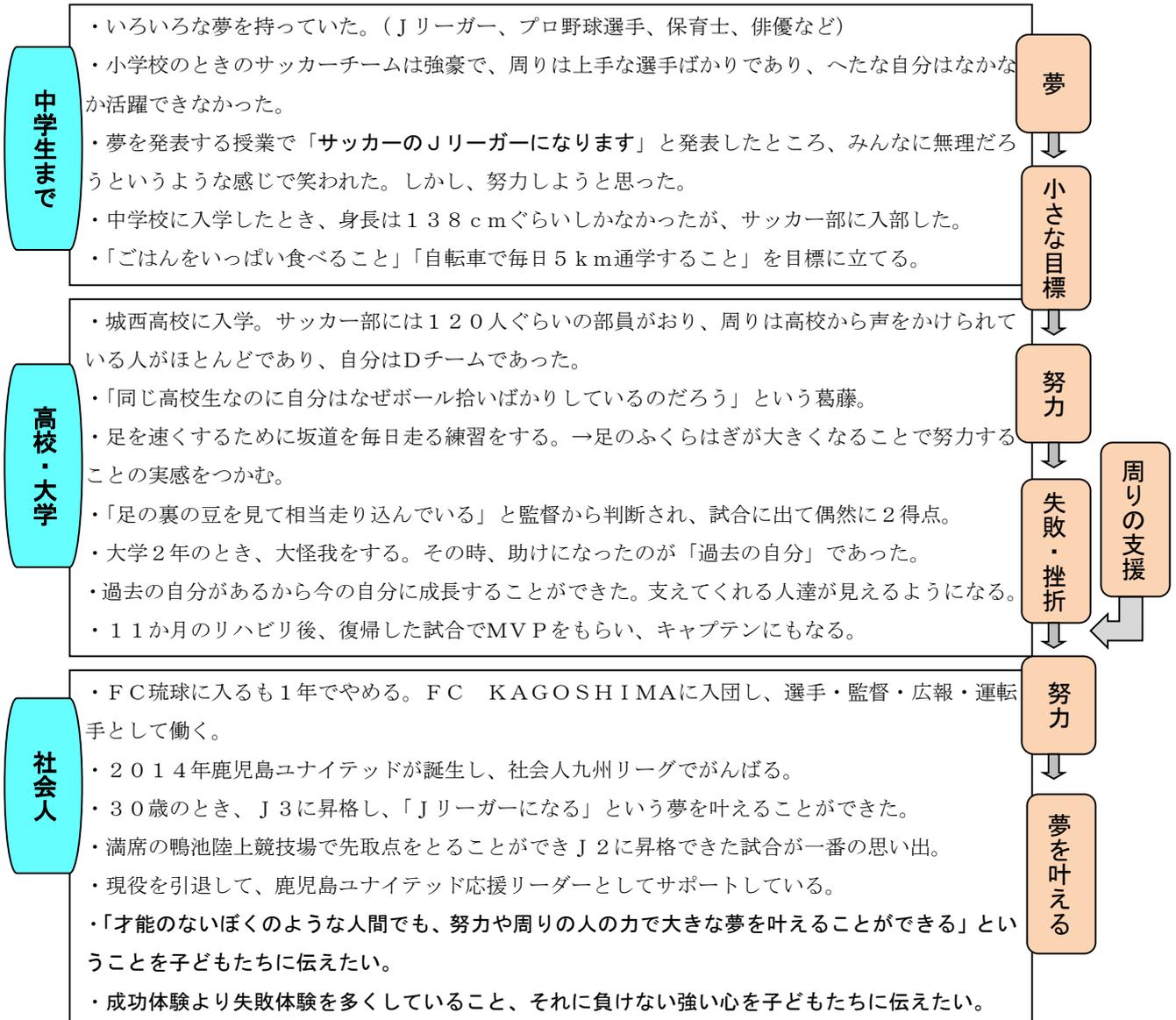
9月16日、敬老会に参加しました。歌のプレゼントとして2曲「大きな古時計」と「夕焼け小焼け」を歌いました。歌の後は、「今頑張っていること」を発表しました。緊張しましたが、いつもお世話になっている地域の方々に喜んでもらうことができ良かったです。



理事等役員研修会

令和3年11月17日（水）に理事等役員研修会を開催しました。理事やあいご会コーディネーターなど約80人が集まりました。今年度は鹿児島ユナイテッドの応援リーダーをされている田上裕さんに「**何事も気持ち次第**」という演題で講演をしてもらいました。

講演の骨子は次のようなことでした。



<田上裕氏プロフィール>

鹿児島市出身の元サッカー選手、サッカー指導者。現役時代のポジションはミッドフィルダー。FC琉球などを経て、2010年にFC KAGOSHIMAに入団。2010シーズンから2012シーズンまで選手兼監督として活躍する。2014年にチームがウォルガ鹿児島と合併、鹿児島ユナイテッドFCとなった後も引き続き在籍し、2019年を以て現役を引退した。

現在は鹿児島ユナイテッド応援リーダーとしてチームのサポート活動や講演活動などに活躍中である。

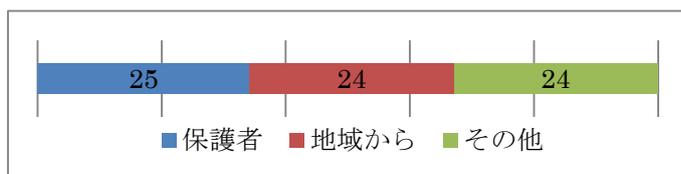


あいご会に関するアンケート調査結果

アンケートの実施：令和3年9月

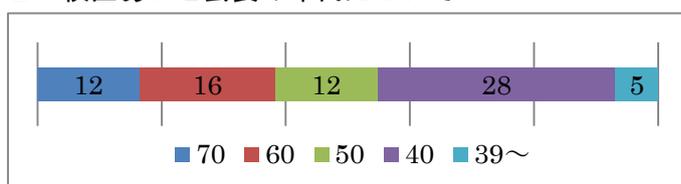
回収率：92%（79校区中73校区）

1 校区あいご会長の決め方について



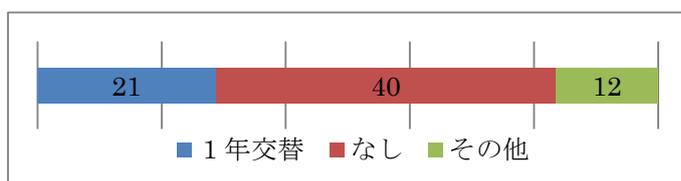
小・中学生に子どものいるところから会長を決めているのが25校区、地域の有志から決めているのが24校区と同じである。その他として、校区の役員や前任者からの依頼などがあった。

2 校区あいご会長の年代について



会長の年代は、40代が一番多く28人、次に60代の16人、70代、50代の12人となっている。40代が多いのは小・中学校の保護者の方だと思われる。

3 校区あいご会長の任期について

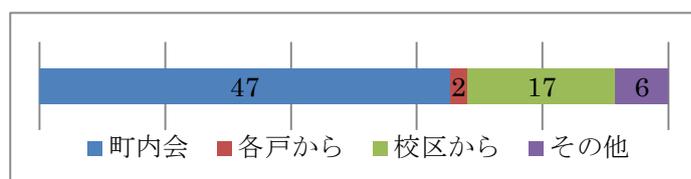


会長の任期を設けていない校区が40で約55%と多い。1年交替が21で約29%である。その他としては、「任期は1年だが再任あり」、「1年の任期だが決まらないときは継続」、「2年の任期」などであった。

4 会長として困っていることや意見

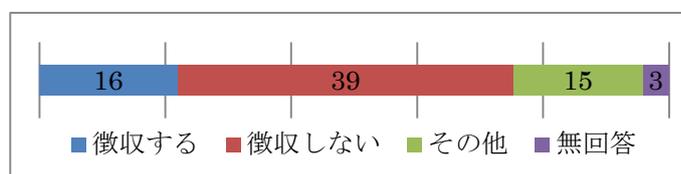
- ◎ 後継者不足（役員のなり手がいない、後任をみつけられない、やめたいけどやめられないなど多数）
- コロナ禍での活動の問題（予定通り実施できない、感染が心配、活動が中止となり仕事内容が把握できない）
- 会員の減少（あいご会を知らない保護者がいる、あいご会への理解不足、会員の意識の低下）
- 引継の問題（来年度の行事が心配、うまく引き継ぎができない）
- 町内会の理解の問題（あいご会への協力不足、町内会の活動がない、連携がうまくいかない）
- 活動への参加が少ない。（少子化の問題、あいご会の存続心配）
- 学校との連携の問題（あいご会への理解不足、小学生の名簿がもらえない、コロナ禍で学校を利用できない）
- 町内会にあいご部と地区PTAがある。
- 町内会加入しているところと未加入の問題（行事に参加させるか、景品を出すかなど）
- 文書作成後の印刷・配布に苦慮
- 財源の問題（会員の減少、バザーでの収益が得られず今後の活動が心配）
- 役員としての問題（会議が多い、時間をとられる、内容がわからない、コロナ禍での行事の開催の判断、学校の役員との重複、1年交替のため経験や知識が蓄積されない、文書連絡が遅い、年齢ギャップ）

5 あいご会連合会校区負担金の徴収方法について



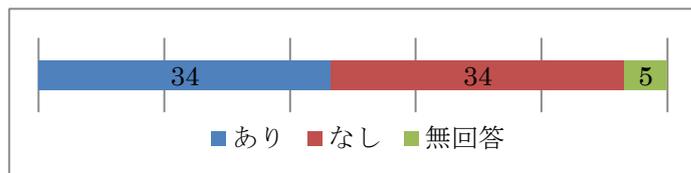
負担金の徴収方法で一番多いのは、各町内会から戸数分を徴収している校区が47で約64%、次は校区コミュ協や校区からまとめて徴収しているが17で約24%である。各家庭1軒1軒を回って徴収しているのが2校区である。

6 町内会に加入していない家庭の負担金について



町内会に加入していない家庭からあいご会会費を徴収している校区が16で約22%、徴収していないのが39で約54%である。その他は町内会により違うや分からないが多い。

7 あいご会連合会の負担金以外の校区あいご会の会費について

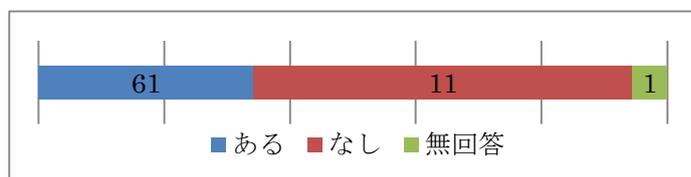


校区の会費がある校区が34で約47%、ない校区が34で約47%と同じ割合である。無回答が5である。校区会費30円から1,000円までさまざまである。

8 負担金で困っていることや意見

- 校区の財源の問題（校区会費から校区負担金分を支払うと活動費が少ししか残らない。）
- 町内会未加入者からの会費徴収の難しさ（景品を渡すとき困る、未加入者の行事費用を出している矛盾）
- 町内会未加入者分も町内会費から拠出している。
- 本来の負担金だけの金額を町内会から徴収できない。
- 町内会で校区負担金を理解してもらえないところがあり困る。
- 町内会に加入していない人へは行事参加を認めていない。
- 校区全体の世帯数が減ってきている。
- 単位町内会が多いので負担金の納入が遅くなる。

9 校区あいご会単独行事について

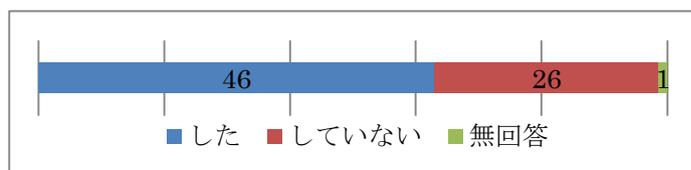


校区単独の行事がある校区が61で約84%と多い。校区の単独行事がない校区が11で約15%である。

※ 主な行事

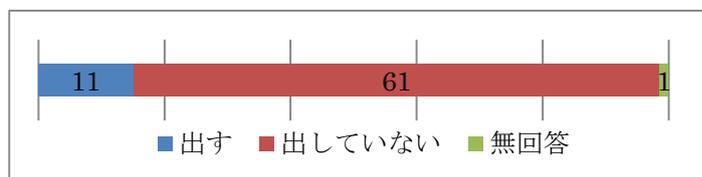
- スポーツ（校区球技大会、グラウンドゴルフ、ドッジボール、ソフトボール、ニュースポーツなど）
- 自然体験（城山登山、ふるさと探検、水遊び、川での生物調査、キャンプ、宿泊研修など）
- 伝統行事活動（夏祭り、鬼火焚き、御輿づくり、敬老会、しめ縄作り、もちつき大会、立志式など）
- 文化活動・その他（大石兵六紙芝居、インリーダー研修会、凧揚げ大会、バザー、健康教室、かるた大会、あいごクイズ大会、スタンプラリー、史跡清掃、地域清掃、七夕、おはら祭りなど）

10 ラジオ体操の実施について



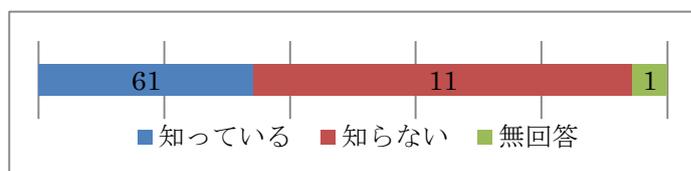
今年の夏、ラジオ体操を実施した校区は46で約64%である。実施しなかった校区は26で約35%である。無回答が1校区。実施した単位あいご会や班の総数は183であった。

11 校区の広報（あいご会通信）について



校区あいご会の活動の様子を知らせる広報誌を出している校区は11で約15%である。出していないのが61で約84%である。無回答が1校区である。

12 「さつまっ子育成事業」について



あいご会連合会が行っている「さつまっ子育成事業」について、知っていると答えた校区は61で約84%である。知らないのが11で約15%である。無回答が1校区である。

【宮川校区あいご会】

※新型コロナウイルス感染防止のため動画配信

- 1 期日予定 令和4年2月6日(日)
- 2 会場 鹿児島市立宮川小学校体育館
- 3 研究テーマ 「これから先もみんなの笑顔が集うあいご会であり続けるために」
～新しい時代のニーズへ柔軟に対応できるあいご会の在り方を考える～
- 4 参加予定人数 約250名
- 5 公開概要



(1) はじめに

宮川小学校は、児童数340名15学級(令和4年4月)、宮川校区あいご会は、10単位あいご会で構成されている。これまでの活動の良いところを生かしながら新しい時代のニーズにどう対応していくのかこれからの時代にマッチする運営の在り方を構築することを目指して本テーマを設定した。

(2) 校区あいご会・単位あいご会の報告

ア 校区あいご会の活動

単位あいご会ごとに対戦し合うドッジボール大会やトーナメント制の十五夜綱引き大会、西町内会敬老祝賀会のお手伝い、校区文化祭での活動発表について、代表児童が、プレゼンテーションに合わせて紹介した。



イ 各単位あいご会の活動

各単位あいご会行事について、6区の新入生歓迎会と6年生を送る会、4区の七夕飾り、山田市住の腕相撲大会、県住のクリスマス会等の楽しい様子が代表児童により報告された。



(3) あいご会以外の育成活動

長い歴史と自然に囲まれた立地条件を生かし、米作り、灯ろうまつり、歩こう会などが開催され、地域との交流を深めている。

(4) 感染下における新しいプログラムの開発

〇なわとびフェスティバル(R3年2月)の紹介

効率化と分業、SNSの活用により話し合い時の感染リスク軽減を図り、フェスティバル当日は、屋外での活動、密を避けるための2部制などの感染対策を行い、個人種目となわとびリレーに取り組んだ。ビデオ発表では、各単位あいご会の児童が体育館で当日を振り返りながら実演した。参加者からは「低学年と高学年で分けて開催するのはあいご会の感じがしない」「イベントを子供たちに考えさせたら良い経験になる」「とりあえず中止ではなく、思い出作りにどうにか出来ないか。工夫してくれた心意気が嬉しかった」といった声が聞かれた。また、準備段階の話し合いの様子や当日の運営、アンケート調査等の結果が報告された。



(5) おわりに

今回の研究発表を通して、子供たちのために何とかしたいという多くの思いが、あいご会の活動を動かす原動力となることを感じる事ができた。あいご会がその思いの受け皿となり、みんなの笑顔が集う場所であり続けるために、これからも様々なニーズに応えられる、より良い形を探求していきたい。

【名山校区あいご会】

※ 新型コロナウイルス感染防止のため、書面にて開催

- 1 期日予定 令和4年2月20日（日）
- 2 会 場 鹿児島市立名山小学校体育館
- 3 研究テーマ 「つながりを守り、つながりを育てるあいご会活動」
- 4 参加予定人数 約150名
- 5 研究概要

(1) 本校区の概要

名山校区は、鹿児島市の中央部に位置し、“歴史を継ぎ、街なかに残る「つながり」を守り育てる名山”をモットーとして、地域一帯となって快適な町作りを推進している。本校区あいご会全町内で協力し、校区に残るよさやつながりを生かした体験活動・異年齢交流活動を通して、心身共に健全な子どもの育成に努めている。また、社会全体や町内を取り巻く環境が変化し続ける中で、子どもたちが社会に生きる力や実践力を身に付けるために、学校や校区コミュニティ協議会と連携及び協力し、あいご会の活動をより円滑に、効果的に運営していくための手立てを考え実践している。

(2) コロナ禍での活動の考え方と実践

今年度は、コロナ禍で失われかねない「つながり」を守り育てることを意識し、3つの柱を立て、あいご会活動を実践してきた。

① 家庭とあいご会のつながり

多くの計画が中止となった前年度ではあったが、コロナ禍でも実施できる時期に各地区のあいご会からこまめに周知を行い、家庭への協力を呼びかけた。結果として、夏季休業中のラジオ体操や小川・浜町あいご会で12月に実施したクリスマス会で多くの子どもが参加し活動を充実させることができた。



② 地域とあいご会活動のつながり

城山敬天あいご会が、薩摩義士碑が建立された歴史的背景等をボランティアの方に教えていただく活動を含めた清掃活動や名山あいご会の月に1回発行する「名山新聞」の制作など、各あいご会において「地域に残るよさ」について体験を通して実感させられる活動を実践できた。



③ 学校とあいご会のつながり

家庭・地域・学校が一体となった「つながり」を意識し、年間を通じて今般の状況下においても、あいご会活動の充実につなげることができた。コーディネーターを中心としながら組織的に企画・運営を進めてきた結果と考える。

毎月第1日曜日に実施される日曜城山登山では、各単位あいご会が中心となって実施をしているが、各組織をつなぎ、中止することなく実施できた。新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される時には、まとまって登山する方法ではなく、各家庭で実施できる写真投稿など工夫した取組も行った。

コロナ禍でPTA活動も少なくせざるを得ない中で、日曜城山登山を交流の場として学校と家庭をつなぐ役割も担うことができています。

(3) おわりに

コロナ禍における「つながり」の希薄化は社会全体にとって大きな課題となっている。しかし、地域コミュニティとともにあいご会における「つながり」を意識した行事の見直しと実践は、今後も必要な考え方である。また、「新型コロナウイルスと上手に付き合うあいご会活動の実施」と「子どもの主体的な活動」について考え実践を重ねていくことも大変重要なことである。名山校区に生きる子どもがそこに住む人や郷土を愛しつつ自分を高めていくことができるよう、あいご会の役割を今後も果たしていきたい。

【令和3年度 鹿児島市あいご会連合会役員名簿】(令和4年1月現在)

役職	氏名	校区名	役職	氏名	校区名
会長	西村 光行	山下	常任理事	迫田 正広	小田山
副会長	森田 眞一	向陽	〃	重久 公香	桜石
〃	外城戸 昭一	福平	〃	須納瀬恵美子	石平
〃	柿元 まり子	和田	〃	今原 孝文	東谷
常任理事	川畑 仁司	本名山	〃	田中 建男	東生
〃	清水 真知子	郡山	〃	古殿 和博	西陵
〃	仮屋 光一	野東	監事	坂尾 加代子	坂元
〃	松田 武泰	名山	〃	南 静乃	元武
〃	松本 美沙	西陵	〃	山下 頼厚	
〃	財部 光三	八幡	事務局長	山元 保	

【あいご会専門部組織】

役職	総務部		研修部		広報部		育成部	
	氏名	校区名	氏名	校区名	氏名	校区名	氏名	校区名
部長	加藤 裕子	谷山	奥村 龍一	川上	遠矢 仁司	坂元	松下 剛	大龍
副部長	財部 光三	八幡	竹之内 哲義	紫原	迫田 正広	小田山	宮元 春清	桜南
〃	山下 和俊	牟礼	米森 清信	宮南	木場田 久	城水	坂元 奈菜	坂元
〃	松田 武泰	名山	安楽 万里子	城南	山畑ひとみ	清水	種子島 俊也	坂元
〃	仮屋 光一	野東	神園 寛子	明和	中山 絵理	原良	崎元 博典	西洲
〃	松本 美沙	西陵	鶴田 利一	伊敷	若松 竜太	西紫	保岡 宏武	中洲
〃	米山 太助	玉江	中村 美江子	東桜島	富田 一良	松元	上田 平恵	花野
〃	重久 公香	桜洲	吉元 健児	錫山	柿元 まり子	和田	川原 恵子	錦江
〃	原口 信博	東昌	今別府 洋一郎	皇徳寺	福元 義弘	中山	霜出 佳寿	清和
〃	永田 晋平	宮川	弓指 博人	一倉	下田 正美	喜入	古殿 和博	生見
〃	清水 真知子	郡山						
〃	大迫 真弓	生見						

【校区あいご会連絡協議会会長・あいご会コーディネーター(小学校・校区)】

No.	校区名	あいご会長	あいご会コーディネーター		No.	校区名	あいご会長	あいご会コーディネーター	
			小学校	校区有志				小学校	校区有志
1	吉田	栗波田 春美	河原 知美	櫻木 洋信	26	西田	崎元 博典	上芝原 優花	大内田 友代
2	本名	川畑 仁司	横山 秀仁	福石のぞみ	27	武	大迫 泉	松尾 奏瑛	坂口 哲朗
3	宮	米森 清信	脇 みどり	北園 順子	28	田上	徳永 真輔	南 雅也	脇 重伸
4	本城	木場田 久	井上 徹郎	—	29	西陵	松本 美沙	平崎 実莉	前村 貴久
5	牟礼	山下 和俊	中小路 明奈	安藤 貴子	30	広木	徳利 浩司	吉留 香穂	榎 学
6	南方	坂元 奈菜	田淵留美子	石塚 淳子	31	中洲	保岡 宏武	新田 唯	上 香織
7	花尾	二渡 瞳	三谷 剛	—	32	荒田	黒岩 賢彦	武 かおり	原口 透
8	郡山	清水 真知子	堂園 茉莉	松下 順子	33	八幡	財部 光三	竹原 信汰	今村 聖子
9	川上	奥村 龍一	佐藤 英里佳	春山 昭則	34	中郡	寶來 良治	瀬之口 亮太	南谷 公一
10	吉野	岡村 豊治	牧 愛夏	加治屋 真由美	35	紫原	竹之内 哲義	木場 文音	丸峯 正史
11	吉野東	仮屋 光一	尾嶋 鎮成	南 琢磨	36	西紫原	若松 竜太	赤瀬川 梨恵	知識 由貴
12	大明丘	東屋 敷 壕	川脇 良	中馬 知子	37	鴨池	伊達 三男	有馬 尚可	高島 英夫
13	坂元	遠矢 仁司	田中 大稀	大木場 真一	38	南	古川 大史郎	日高 夏奈	井上 ひろみ
14	坂元台	種子島 俊也	西郷 知里	南 静乃	39	宇宿	柏木 純孝	内原 恵太	橋口 三知
15	清水	山畑ひとみ	小野池 篤志	岡尾 浩一	40	向陽	森田 眞一	西 ひかり	中野 恵津子
16	大龍	松下 剛	中俣満理奈	福別府 真美	41	伊敷	鶴田 利一	西溜 茜	山下 友美
17	名山	松田 武泰	小村 拓矢	前之園 玲子	42	花野	上田 平 恵	川波 徹也	中野 則昭
18	山下	西村 光行	児玉潤一郎	久保 健市	43	西伊敷	梶 和嗣	川畑 結佳	高橋 英豊
19	松原	岡部 高之資	成松 奨一郎	田地行 真由美	44	伊敷台	濱田 浩二	西村 菜央	藤元 由佳
20	城南	安楽 万里子	岩城 隆志	島 ちなみ	45	玉江	米山 太助	向井 愛絵	中間 亜希子
21	草牟田	黒木 秀里	本川 悠平	豊丸 安美	46	小山田	迫田 正広	岩村 奈那	上原 健
22	原良	中山 絵里	上橋 恭太	神田 友規子	47	犬	蓑輪 忠博	峯 満彦	徳留 正利
23	明和	神園 寛子	村場 亮太	坂 卷 裕美	48	皆与志	末満 文廣	外室 里子	米倉 文治
24	武岡	横山 芳澄	橋木 理沙	今村 絵里子	49	東桜島	中村 美江子	本村 美香	—
25	武岡台	下原 文美	田川 瑞希	川元 達子	50	改新	上村 幸治	—	岩元 益男

No.	校区名	あいご会長				あいご会コーディネーター		No.	校区名	あいご会長		あいご会コーディネーター	
		小学校		校区有志		小学校				校区有志			
51	高免	—	—	—	—	—	66	平川	今原孝文	田淵尚隆	大野雅士		
52	黒神	石田清華	西村和馬	—	—	67	錫山	吉元健児	徳重宏祐	—	—		
53	桜洲	重久公香	山下博史	萩原貞信	—	68	中山	福元義弘	帖地博嗣	萩原孝司	—		
54	桜峰	宮元春清	野田海世	柳田知美	—	69	桜丘西	若松久夫	川畑健介	大内田朋子	—		
55	松元	富田一良	川上潤奈	赤崎和恵	—	70	桜丘東	有留雄一郎	久徳さゆり	谷口拓也	—		
56	東元	原口信博	棚原友子	井元久美	—	71	星峯西	三反園輝男	有馬正吾	福永香織	—		
57	春山	本村信治	竹迫香子	齋藤美枝	—	72	星峯東	鈴木健吾	平田めぐみ	是枝貴子	—		
58	石谷	須納瀬恵美子	中山拓真	久木崎多津子	—	73	宮川	永田晋平	宮下智和	畠中美里	—		
59	谷山	加藤裕子	遠山慶悟	吉留栄美	—	74	皇徳寺	今別府洋一郎	濱崎天音	水口博子	—		
60	西谷山	山口政行	牧内愛美	福永雅子	—	75	瀬々串	内木場司	松蘭鮎佳	村中保子	—		
61	東谷山	田中建男	井之元菜湖	前田義広	—	76	中名	前原博明	川畑孝亮	福永敏子	—		
62	清和	霜出佳寿	遠矢咲保	関博文	—	77	喜入	下田正美	瀬戸口礼果	宇都加寿代	—		
63	和田	柿元まり子	松木瞳	有馬浩幸	—	78	前之浜	大迫真弓	中捨石智鈴	房代	—		
64	錦江台	川原恵子	木之下沙綾	小山田真由美	—	79	生見	古殿和博	下迫瑞輝	上木ヒロ子	—		
65	福平	外城戸昭一	中水光	古川洋人	—	80	一倉	弓指博人	内村咲	—	—		
あいご会長79名 小学校あいご会コーディネーター78名 校区有志あいご会コーディネーター73名													

【あいご会コーディネーター名簿(中学校)】

No.	中学校名	コーディネーター	No.	中学校名	コーディネーター	No.	中学校名	コーディネーター
1	吉田北中	清水りな	14	武中	海江田佳南子	27	桜島中	川添初美
2	吉田南中	岸良明彦	15	西陵中	伊村凌太	28	松元中	高田蒼太
3	郡山中	山之口健斗	16	甲南中	北迫大和	29	谷山中	橋元瑞季
4	緑丘中	久保信之	17	天保山中	松島龍史	30	東谷山中	宮田勝弘
5	吉野中	吉松幹太	18	鴨池中	松山香純	31	和田中	東中川壮子
6	吉野東中	友生貴由	19	南原中	前田季恵	32	福平中	佐藤まり子
7	坂元中	藤井由賀	20	紫原中	中筋満	33	錫山中	宇都敦郎
8	清水中	中屋あおい	21	西紫原中	中島美樹	34	谷山北中	松元仁志
9	長田中	濱田睦也	22	伊敷中	東郷真実	35	皇徳寺中	石下谷詩織
10	甲東中	木場智明	23	伊敷台中	小牟田浩	36	星峯中	松下楓
11	城西中	丸山翔子	24	河頭中	湯之前尚	37	桜丘中	葛迫悠紀
12	明和中	福島聡馬	25	東桜島中	田島隆太郎	38	喜入中	帖治巧
13	武岡中	川路凌	26	黒神中	岩下拳史郎	中学校コーディネーター38名		

【あいご新聞・あいご誌編集委員名】

所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名
広報部長	遠矢仁司	広報部員	若松竜太	市教育委員会	下園昌三
広報副部長	迫田正広	〃	富田一良	事務局	山元保
広報部員	木場田久	〃	柿元まり子		
〃	山畑ひとみ	〃	福元義弘		
〃	中山絵里	〃	下田正美		

あとがき

新型コロナウイルスが出現して2年目、マスク着用・三密防止が当たり前の生活となってきました。そんな中、あいご会連合会のスローガンを「みんなが楽しむあいご会」と掲げ、令和3年度をスタートさせました。しかし、鹿児島でも感染者が続出し、あいご会連合会の総会は発足以来初めて中止となりました。会員の皆様の協力で何とか書面決議での開催となり、無事決議され事業をすすめることができました。

ブロック別子ども大会やあいごスポーツ大会は感染拡大を懸念して、ほとんどのブロックで実施できませんでした。また、校区あいご会や単位あいご会でも計画していた行事がなかなか予定通りできずあいご会関係者にとっては大変な1年となりました。

そんな大変なコロナ禍の中、何とか子どもたちに楽しい経験を積ませようと工夫した行事や活動を行ったところがありました。それらの活動をあいご誌やあいご新聞で紹介できました。子どもたちが楽しく活動している様子を垣間見ることができます。ある校区会長さんが「やめるのは簡単、どうしたら実施できるか工夫することが大事」と語ってくれ、元気をもらいました。

まだまだ新型コロナウイルス感染は収束を見せませんが、しばらくはみんなで知恵を出しながらあいご会活動を進めていけたらと思います。最後になりますが、原稿を寄せいただいた皆様により感謝申し上げます。

あいご誌 第82号

発行 令和4年3月

編集 鹿児島市あいご会連合会

〒892-0816

鹿児島市山下町5-9

(中央公民館3階)

電話・FAX 226-6604

Email aigo@po3.synapse.ne.jp

ホームページ http://www5.synapse.

ne.jp/aigokagosima/

市あいご会のシンボル旗



太陽を象徴した黄色い円の中に
純白の小円があり、
その下に人間の動脈、静脈を表す
赤と青の2本のすじを通したもの
(昭和47年 長田中3年 荒木淳一作)